

令和5年度キャリア教育指導者養成研修 実施要項

1 目的

児童生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくため、各教科・科目等の特質に応じたキャリア教育を充実させることが求められている。

本研修では、学校や地域において、1) キャリア教育に関する諸課題の改善に専門的知見を活用し組織的な取組を推進する力、2) 教職員の専門性向上を推進する力、を習得した指導者の養成を図る。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構、富山県教育委員会

3 共催 文部科学省

4 期間・標準定員等

回	期間	都道府県	標準定員
第1回	令和5年 6月20日(火) ～ 6月23日(金)	青森県、宮城県、山形県、群馬県、 埼玉県、千葉県、神奈川県、富山県、 福井県、長野県、静岡県、三重県、 京都府、兵庫県、和歌山県、島根県、 広島県、徳島県、愛媛県、福岡県、 長崎県、大分県、鹿児島県	80名
第2回	令和5年 8月22日(火) ～ 8月25日(金)	北海道、岩手県、秋田県、福島県、 栃木県、茨城県、東京都、新潟県、 石川県、山梨県、岐阜県、愛知県、 滋賀県、大阪府、奈良県、鳥取県、 岡山県、山口県、香川県、高知県、 佐賀県、熊本県、宮崎県、沖縄県	80名

各都道府県・指定都市教育委員会等は、所在する都道府県が該当する開催回に推薦すること。

該当しない開催回に推薦することも可能である。ただし、定員を超過し受講者数の調整をする場合には、該当する開催回に推薦された受講者を優先する。

5 実施方法 集合・宿泊

6 会場 パレプラン高志会館(〒930-0018 富山県富山市千歳町1-3-1)

7 研修内容

別紙1「日程表」のとおりとする。

小学校・中学校・高等学校におけるキャリア教育の定着や充実をねらいとし、発達段階に応じたキャリア教育の在り方やキャリア教育推進のための具体的な手立て等について、演習や課題協議を実施する。また、3日目～4日目午前の一部の日程において、「経営コース」と「推進コース」に分かれて研修を行う。各コースの対象と内容は以下のとおりとする。

【経営コース】

対 象	・教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事等 ・校長、副校長及び教頭等
内 容	演習等を通して、キャリア教育を域内や校内で推進する上で必要な連携体制の在り方や、キャリア教育の評価・改善方策などを協議する。

【推進コース】

対 象	・教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事等 ・主幹教諭、指導教諭及び教諭等
内 容	演習等を通して、各教科等においてキャリア教育の充実を図るための指導の在り方や工夫、個に対する指導の在り方などを協議する。

8 受講者

(1) 受講資格

都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者

小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭等であって、各地域において本研修内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者

全日程を通して受講できる者を推薦すること

「第5次男女共同参画基本計画」(令和2年12月25日閣議決定)を踏まえ、本研修における女性教職員の割合を20%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について配慮すること。(参考:令和4年度...29.3%)

(2) 推薦人数

推薦する場合、以下のとおりとする。

各都道府県教育委員会においてはコース毎に2名程度とする。各指定都市教育委員会においてはコース毎に1名程度とする。

各中核市教育委員会、各都道府県知事部局、附属学校を置く各国公立大学、国立青少年教育振興機構においては両コース合わせて1名程度とする。

(3) 推薦手続

第1回開催分の推薦期限は、令和5年4月19日(水)とする。

第2回開催分の推薦期限は、令和5年6月21日(水)とする。

各都道府県・指定都市教育委員会等においては、推薦する候補者を取りまとめて、「研修システム」により推薦を行う。ただし、中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修システム」により推薦を行う。

(4) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。ただし、標準定員を超過する場合は、受講者数を調整する。そのため、研修システムにより推薦を行う際に、候補者毎に、推薦順位を入力すること。

9 事前課題

(1) 【課題様式1】研修成果活用計画書の作成

事前に研修成果活用計画書(A4用紙1枚程度を予定)を作成し、提出すること。なお、内容、提出期限、提出方法については、受講者決定時に別途連絡する。

(2) 【課題様式2】キャリア教育実践状況報告書の作成

演習・協議用資料として、事前にキャリア教育の実践状況についてまとめた資料(A4用紙1枚程度を予定)を作成し、提出すること。なお、内容、提出期限、提出方法については、受講者決定時に別途連絡する。

(3) 【課題様式3】事前録画講義レポートの作成

事前に録画講義を視聴し、視聴内容についての課題を提出すること。なお、内容、提出期限、提出方法については、受講者決定時に別途連絡する。

10 その他

(1) 所定の課程を修了した受講者には、修了証書を授与する。推薦の際に、必ず候補者の氏名を確認し、正確に記入すること。

(2) 本研修は、学習管理システム「学びばこ」((株)テクノカルチャー)を利用して資料等を提供するものである。なお、「学びばこ」は専用のソフトウェアやアプリをダウンロードする必要がなく、対応するブラウザであればスマートフォン等の端末からも受講可能である。

(3) 受講者が研修に専念できるよう、推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

(2) 宿泊の手配等については各自で行う。本研修の受講に際し、特別な配慮が必要な者(障害、持病等)を推薦する場合には、事前に当機構に相談すること。

令和5年度キャリア教育指導者養成研修（第1回・第2回 共通） 日程表（予定）

事前課題として、 講義動画を視聴 (125分程度)	【社会に開かれた教育課程の編成】 「学校・家庭・地域をつなぐキャリア教育」 (25分)	【児童生徒の発達を促す】 「発達段階に応じたキャリア教育」 (50分)	【児童生徒の発達を促す】 「『主体的に学ぶ』子どもの育成を 目指して」 (25分)	【社会に開かれた教育課程の編成】 【カリキュラム・マネジメントの展開】 「学校・地域における教育活動を通じて 行うキャリア教育の展開方策」 (25分)

第1日目

第1回 6月20日 (火)	開 講 式	本 研 修 の 進 め 方	9:15	10:15	12:00	13:00	14:30	14:45	17:00
			(第1講) 講義・演習			昼 休 み	(第2講) 講義・事例発表・協議		(第3講) 講義・事例発表
第2回 8月22日 (火)			【キャリア教育の理解】 「キャリア教育の理解」 【カリキュラム・マネジメントの展開】 「キャリア教育」 目的：キャリア教育の背景や必要性を理解し、最新情報に触れる。また、4日間に見通しを持つ。				【カリキュラム・マネジメントの展開】 「P D C Aサイクルを踏まえた指導計画等の評価・改善手法」 目的：キャリア教育の視点からP D C Aサイクルの理論と具体を知り、カリキュラム・マネジメントのまとめにつなぐ。		【社会に開かれた教育課程の編成】 「横の連携を意識したキャリア教育 (校種別)」 小学校 中学校 高等学校 目的：校種別に学校と地域の協働によるキャリア教育の具体を考え、成果と課題を整理する。 (課題様式2を持ち寄り意見交換)

第2日目

第1回 6月21日 (水)	休 憩	8:50	10:20	10:35	17:00	
		(第4講) 講義・事例発表		(第5講) 演習【昼休み含む】		
第2回 8月23日 (水)		【児童生徒の発達を促す】 「キャリア・カウンセリングの基盤としての コミュニケーションスキルの向上」 目的：キャリア・カウンセリングの理論と 具体について体得する。		【児童生徒の発達を促す】 「縦の連携を意識したキャリア教育」 【カリキュラム・マネジメントの展開】 「キャリア教育全体計画の作成」 目的：児童生徒の現状や身につけさせたい資質・能力を踏まえた指導計画作りを通して、 キャリア教育推進のためのプログラム開発に必要な知識・方法を得る。(課題様式2を使用)		

第3日目

第1回 6月22日 (木)	休 憩	8:50	10:20	10:35	12:00	13:00	14:30	14:45	17:00
		(第6講) 講義・演習		推 進 コ ー ス	(第7講) 講義・演習【昼休み含む】			(第8講) 講義・演習	
第2回 8月24日 (木)		【児童生徒の発達を促す】 「縦の連携を意識したキャリア 教育」 【キャリア教育の理解】 「『キャリア・パスポート』 の展開」 目的：学習指導要領における キャリア教育の方向性を 確認するとともに、キャ リア教育の中核の時間と なる「特別活動」及び「キ ャリア・パスポート」に ついて理解を深める。			【カリキュラム・マネジメントの展開】 「P D C Aサイクルを踏まえた指導計画等の評価・改善手法(校種別)」 小学校 中学校 高等学校 目的：キャリア教育の視点からP D C Aサイクルの理論と具体を知り、 カリキュラム・マネジメントのまとめにつなぐ。	【社会に開かれた教育課程の編成】 「横の連携を意識したキャリア教育」 目的：地域や企業との連携・協働について考え、 課題を整理する。(課題様式2持ち寄り意見交換)	(第7・8講)演習【昼休み含む】		
				【カリキュラム・マネジメントの展開】 「各教科・科目等を中心としたキャリア教育年間指導計画の作成」 目的：児童生徒の現状や身につけさせたい資質・能力を踏まえた指導計画作りを通して、 キャリア教育推進のためのプログラム開発に必要な知識・方法を得る。(課題様式2を使用)					

第4日目

第1回 6月23日 (金)	推 進 コ ー ス	8:50	12:15	13:15	15:15	15:30	
		(第9講)演習		(第10講)講義・質疑応答			
第2回 8月25日 (金)		【カリキュラム・マネジメントの展開】 「P D C Aサイクルを踏まえた指導計画等の評価・改善手法」 目的：全体計画と年間指導計画を評価し、改善につなぐ。 本研修を通じて進めてきたカリキュラム・マネジメント をまとめる。		「本研修の振り返り」 「研修講師を務めるに当たって」 目的：本研修を振り返り、研修内容等について整理するとともに、 研修成果を活用して各地域で研修講師を務めるための研修 計画を作成し、情報交換を行う。			閉 講 式
		(第9講)課題協議 「キャリア教育における個別的な支援・指導の在り方」 目的：キャリア教育における個別支援の必要性を知り、 その具体について体得する。					

凡例(各コマの色分け)

キャリア教育の理解	カリキュラム・マネジメントの展開	社会に開かれた教育課程の編成	児童生徒の発達を促す
-----------	------------------	----------------	------------